

尼崎市総合計画審議会資料

資料第1号—2

平成29年7月19日

平成29年度施策評価実施における施策の 統合について

尼崎市

平成29年度施策評価実施における施策の統合について

平成28年の市制100周年を契機に、尼崎城の再建などまち全体のイメージを飛躍的に変えるチャンスを迎えており、後期計画策定にあたっては、施策「文化・交流」を施策「魅力創造・発信」と再編し、地域への誇りと愛着を醸成するとともに、交流人口の増加や「観光地域づくり」を推進していくこととし、従前よりお示しさせていただいているところです。

一方で、現在計画策定と併行して実施している施策評価において、「地域の歴史」についても「文化・芸術」と同様に、この機を活かし、次世代に継承していくために守り・育てていくとともに、地域資源として活用し本市の魅力として広く発信していくことが重要であるとのことから、後期計画期間の5年間は、施策「地域の歴史」についても、施策「魅力創造・発信」とあわせて取り組むべきだという議論が行われたことから、展開方向を下表のように整理します。

後期まちづくり基本計画（現行案）

	施策の展開方向	行政の取り組むこと
【魅力創造・発信】人をひきつける魅力があふれるまち		
14-1	良好な都市イメージを創造し、積極的にまちの魅力を発信します。	戦略的な情報発信によるまちのイメージの向上
14-2	地域の資源や魅力を活用し、愛着と誇りを持つ市民を増やします。	尼崎への愛着と誇りの醸成
14-3	本市の魅力を実感する機会を増やすため、市内外の人の交流を促進します。	地域資源を活用した市内外の交流推進 地域一体となって取り組む観光地域づくり
14-4	地域資源の活用や文化芸術活動の担い手の育成など、まちの魅力と活力を高めます。	地域文化を創造する次代の担い手の育成や連携の促進 地域資源を活かした新たな魅力づくり
【地域の歴史】歴史遺産を守り活かすまち		
15-1	地域や尼崎市への愛着と誇りが育つよう、歴史や文化財等の魅力を伝えていきます。	住んでいる地域や尼崎市への愛着と誇りをはくくむ
15-2	文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実など、ともに学びあえる環境をつくります。	歴史遺産等の保存と活用 地域の歴史に関する学習環境の整備

後期まちづくり基本計画（検討案）

	施策の展開方向	行政の取り組むこと
【魅力創造・発信】歴史や文化を守り活かし、人をひきつける魅力があふれるまち		
14-1	まちの魅力を高め、シビックプライドの醸成を図るため、学ぶ機会を増やすとともに、戦略的に発信します。	シビックプライドの醸成
14-2	尼崎城をはじめとしたまちの多様な資源を活用し、市内外の人の交流の促進をめざし、観光地域づくりに取り組みます。	観光地域づくりと市内外の交流促進
14-3	まちの魅力と活力を高めるため、地域の文化資源の活用を促進するとともに、新たな文化芸術活動の担い手を育成します。	新たな魅力づくりによる文化振興
14-4	まちの歴史とともに学びあえるよう、文化財や歴史資料等の保存や学習機会の充実に取り組みます。	歴史遺産等の保存と活用



